

廃棄物学会関西支部 第1回廃棄物法制度に関するセミナー

開催報告

関西支部の第1回廃棄物法制度に関するセミナーが、「めまぐるしく変わる法制度に対応していくために」として、平成16年3月19日に開催された。

本セミナーは、近年急速に整備が進む廃棄物・リサイクルに関する法律に関して、これまでの制定・改正を整理、おさらいし、理解を深めることを目的としたもので、当日は149名もの参加があった。

はじめに、環境省・廃棄物リサイクル対策部・廃棄物対策課の由田秀人課長から、廃棄物処理法成立以来30年余のこれまでの廃棄物・リサイクルに関する法律の制定・改正を、関連環境法令を含めて、その根拠を交えながらご説明いただくとともに、現在および今後の法整備の方向性などについても、2時間の長きにわたりお話いただいた。

続いて、自治体における廃棄物処理法の運用に関して、和歌山県循環型社会推進課の岩井敏明課長から、和歌山県橋本市の産業廃棄物問題を例に、この事件を通じて県は、どのように廃掃法や県条例を運用して現状に至ったかを、写真等を用いてわかりやすくご説明いただいた。

最後の質疑応答では、今後の廃棄物処理法の動向などに関して、質問が活発になされ、本セミナーは盛会裡に終了した。

このセミナーは関西支部の行事として、今後、第2回、第3回と続けていくことを予定しており、これからも多くの方々にご参加頂きたくよろしくお願い致します。

(関西支部 大下和徹 記)

